



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月30日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社
コード番号 4410 URL www.harima.co.jp

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理グループ長 (氏名) 上辻 清隆

TEL 06-6201-2461

定時株主総会開催予定日 2021年6月23日

配当支払開始予定日 2021年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	62,850	△12.5	1,576	△58.0	1,093	△69.5	1,091	△50.8
2020年3月期	71,799	△8.6	3,752	△19.6	3,589	△25.5	2,217	△46.3

(注) 包括利益 2021年3月期 794百万円 (△53.1%) 2020年3月期 1,693百万円 (△44.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	43.44	—	3.1	1.6	2.5
2020年3月期	87.67	—	6.3	5.0	5.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 △110百万円 2020年3月期 △40百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	69,390	37,441	49.8	1,375.27
2020年3月期	71,395	37,745	49.2	1,399.48

(参考) 自己資本 2021年3月期 34,565百万円 2020年3月期 35,134百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,007	△1,858	△1,564	3,421
2020年3月期	6,186	△3,463	△2,045	3,911

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00	956	43.3	2.7
2021年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00	955	87.5	2.7
2022年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00		76.4	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	33,400	10.9	880	147.0	880	459.5	450	31.1	17.90
通期	68,500	9.0	2,500	58.5	2,500	128.6	1,250	14.5	49.73

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	26,080,396 株	2020年3月期	26,080,396 株
② 期末自己株式数	2021年3月期	946,459 株	2020年3月期	974,643 株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	25,125,257 株	2020年3月期	25,294,471 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	2,369	△19.1	274	△66.2	368	△59.1	1,744	77.1
2020年3月期	2,930	△4.4	811	△9.8	900	△9.0	984	159.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	69.42	—
2020年3月期	38.93	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	34,285	25,859	75.4	1,028.86
2020年3月期	35,257	25,555	72.5	1,017.93

(参考) 自己資本 2021年3月期 25,859百万円 2020年3月期 25,555百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信【添付資料】5ページの「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し(次期の業績の見通し)」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
参考資料	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、第1四半期より極めて厳しい状況にありました。第2四半期以降、欧米の景気は回復に向かいましたが、年末以降、感染が再拡大するなど、先行き不透明な状況が続いています。一方、中国では、経済活動を再開したため、景気回復が持続しています。

日本経済は、2020年5月の緊急事態宣言解除後は、持ち直しの動きが見られましたが、設備投資や企業収益、雇用は、弱含みとなり、2021年1月には2度目の緊急事態宣言が発出されるなど、新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念されており、本格的な回復までに時間を要する見通しとなっております。

このような受注環境が厳しい中、当社グループにおきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により、減収減益は避けられない状況となり、経費削減等によるコストダウンを実施しながら、拡販に努めて参りました。

当社グループの海外事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、販売数量の減少が大きく、中国での製紙用薬品事業が堅調であったものの、売上高は前期に比べ減少しました。利益面でも、売上高が減少したため、前期に比べて減少しました。

国内事業も、新型コロナウイルス感染症の影響により、販売数量の減少が大きく、売上高、利益面とも前期に比べ減少しました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の連結業績は、売上高は628億5千万円となり、前期に比べ89億4千8百万円(△12.5%)の減収となりました。

利益面では、営業利益は15億7千6百万円となり、前期に比べ21億7千5百万円(△58.0%)の減益となりました。経常利益は為替差損や持分法投資損失を営業外費用として計上したことにより10億9千3百万円となり、前期に比べ24億9千6百万円(△69.5%)の減益となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益を特別利益として計上したことにより10億9千1百万円となり、前期に比べ11億2千6百万円(△50.8%)の減益となりました。

(前年同期間比)

(単位：百万円)

	前連結会計年度(A)	当連結会計年度(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
売上高	71,799	62,850	△8,948	△12.5%
営業利益	3,752	1,576	△2,175	△58.0%
経常利益	3,589	1,093	△2,496	△69.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,217	1,091	△1,126	△50.8%

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

① 樹脂化成品

(単位：百万円)

	前連結会計年度(A)	当連結会計年度(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
売上高	18,188	14,783	△3,404	△18.7%
営業利益	419	△490	△909	—

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国内の印刷インキ業界では商業用印刷や新聞発行部数が減少しました。合成ゴム業界では、自動車タイヤ向けスチレンブタジエンゴムの生産量が大幅に減少しましたが、当期後半には回復傾向が見られました。塗料業界では、建築向け塗料の生産が減少しました。

当部門の売上高は前期に比べ、機能性ナノ粒子分散液の販売が堅調に推移したものの、印刷インキ用樹脂、合成ゴム用乳化剤、塗料用樹脂の販売が大幅に減少しました。

また、売上高減および原料価格の上昇により営業損失となりました。

その結果、当部門の売上高は、147億8千3百万円となり、前期に比べ34億4百万円(△18.7%)の減収となりました。営業損失は4億9千万円と前期に比べ9億9百万円の減益となりました。

② 製紙用薬品

(単位：百万円)

	前連結会計年度(A)	当連結会計年度(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
売上高	18,928	18,481	△447	△2.4%
営業利益	1,838	1,987	149	8.1%

国内の製紙業界は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、板紙および印刷情報用紙の需要がいずれも低迷し、紙、板紙生産量は、前期に比べ減少しました。中国の紙・板紙生産量は前期に比べ増加、米国の紙・板紙生産量は減少しました。

当部門の売上高は前期に比べ、中国は紙力増強剤の需要が高まり、好調に推移したものの、国内および米国は減少しました。

その結果、当部門の売上高は、184億8千1百万円となり、前期に比べ4億4千7百万円(△2.4%)の減収となりました。営業利益は、中国が引き続き堅調に推移したことにより19億8千7百万円と前期に比べ1億4千9百万円(8.1%)の増益となりました。

③ 電子材料

(単位：百万円)

	前連結会計年度(A)	当連結会計年度(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
売上高	5,297	5,005	△292	△5.5%
営業利益	157	272	114	72.8%

半導体関連業界は、在宅勤務によるパソコン需要及び通信インフラ拡大など堅調に推移しました。一方、自動車業界の生産台数は、新型コロナウイルス感染症の影響により前期に比べ減少しました。

当部門の売上高は前期に比べ、半導体用機能性樹脂、ソルダペーストは増加しましたが、導電性ペースト、自動車熱交換器用のろう付け材料が減少しました。

その結果、当部門の売上高は、50億5百万円となり、前期に比べ2億9千2百万円(△5.5%)の減収となりました。営業利益は2億7千2百万円と合理化、コスト削減効果もあり前期に比べ1億1千4百万円(72.8%)の増益となりました。

④ ローター

(単位：百万円)

	前連結会計年度(A)	当連結会計年度(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
売上高	27,655	23,068	△4,586	△16.6%
営業利益	1,654	386	△1,268	△76.7%

粘接着剤用樹脂の販売は、欧州、南米は前期に比べ増加しましたが、他地域での販売が減少したことから前期に比べ減少しました。

出版印刷インキ用樹脂の販売は、情報のデジタル化を背景に総じて需要が低迷しており、特に当期は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前期に比べ大幅に減少しました。

営業利益は、販売の減少に加え、アロマケミカル関連商品の原価率の上昇もあり、前期に比べて大幅に減少しました。

その結果、当部門の売上高は、230億6千8百万円で、前期に比べ45億8千6百万円(△16.6%)の減収となりました。営業利益は3億8千6百万円と前期に比べ12億6千8百万円(△76.7%)の減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	2020年3月末(A)	2021年3月末(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
流動資産合計	36,482	35,567	△915	△2.5
固定資産合計	34,912	33,822	△1,089	△3.1
資産合計	71,395	69,390	△2,005	△2.8
流動負債合計	26,567	20,902	△5,665	△21.3
固定負債合計	7,081	11,045	3,964	56.0
負債合計	33,649	31,948	△1,701	△5.1
純資産合計	37,745	37,441	△304	△0.8
負債純資産合計	71,395	69,390	△2,005	△2.8
自己資本比率(%)	49.2	49.8	—	0.6

当連結会計期間末の総資産は前期末に比べ20億5百万円の減少となりました。自己資本比率は49.8%となりました。増減の主なものは、流動資産では現金及び預金が5億2千8百万円減少し、同じく原材料及び貯蔵品が5億2千4百万円減少しました。負債では支払手形及び買掛金が7億8千1百万円減少し、退職給付に係る負債が6億3百万円減少しました。短期借入金を長期借入金に借換えたため、短期借入金が37億5千7百万円減少し、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が35億8千2百万円増加しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、30億7百万円の収入となりました。

これは主として、たな卸資産の減少額が5億5千3百万円や税金等調整前当期純利益が23億1千6百万円、減価償却費23億5千3百万円等、資金の収入が支出を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローでは、18億5千8百万円の支出となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出が22億2千6百万円、投資有価証券の取得による支出17億8千8百万円等、資金の支出が収入を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、15億6千4百万円の支出となりました。

これは主として、長期借入れによる収入50億4百万円あったものの、短期借入金の減少39億7千9百万円、配当金の支払額9億5千4百万円、長期借入金の返済による支出が13億8千万円等により、資金の支出が収入を上回ったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	47.1	48.4	48.5	49.2	49.8
時価ベースの自己資本比率	30.2	30.3	36.2	39.5	34.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.5	6.1	4.4	2.9	5.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ	22.9	8.9	15.2	20.9	12.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(注5) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号2018年2月16日）等を2019年3月期の期首から適用しており、2017年3月期～2018年3月期については遡及適用後の数値を記載しております。

(4) 今後の見通し

(次期の業績の見通し)

世界経済は、当面、新型コロナウイルス感染症の影響が続くと見込まれ、先行きが不透明な状況が続いています。日本経済においても、感染症再拡大の影響による厳しい状況が続くと見込まれます。

このような環境下、次期の業績予想につきましては、売上高685億円、営業利益25億円、経常利益25億円、親会社株主に帰属する当期純利益12億5千万円を計画しています。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益配分につきましては、安定した配当を継続して実施するとともに、将来の積極的な事業展開に備えて内部留保の充実に努め経営基盤の強化を図ってまいります。

内部留保金につきましては、財務体質の強化、研究開発活動への投資、生産体制の整備充実などに活用してまいります。

株主の皆様に対する配当金につきましては、業績動向及び配当性向等を総合的に勘案して実施してまいります。

当期の期末配当につきましては、1株当たり19円を予定しております。中間配当金と合わせて年間38円となります。また、次期につきましては、中間配当19円に期末配当19円を加えた年間38円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,006,886	3,478,646
受取手形及び売掛金	17,574,117	17,463,813
商品及び製品	5,829,328	5,462,545
原材料及び貯蔵品	7,108,562	6,584,320
その他	2,054,815	2,653,100
貸倒引当金	△91,054	△75,171
流動資産合計	36,482,655	35,567,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,398,827	5,221,000
機械装置及び運搬具（純額）	6,621,357	7,182,565
土地	8,516,171	8,305,644
リース資産（純額）	390,005	364,516
建設仮勘定	1,257,653	693,200
その他（純額）	931,031	683,861
有形固定資産合計	23,115,046	22,450,788
無形固定資産		
その他	739,689	558,133
無形固定資産合計	739,689	558,133
投資その他の資産		
投資有価証券	8,894,986	8,707,896
繰延税金資産	1,328,410	1,243,346
その他	837,070	865,117
貸倒引当金	△2,710	△2,435
投資その他の資産合計	11,057,756	10,813,925
固定資産合計	34,912,492	33,822,847
資産合計	71,395,148	69,390,102

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,863,043	8,081,148
短期借入金	12,384,064	8,626,287
1年内返済予定の長期借入金	1,327,939	434,497
リース債務	72,468	71,240
未払法人税等	494,699	309,118
役員賞与引当金	81,730	17,290
その他	3,344,027	3,362,746
流動負債合計	26,567,973	20,902,328
固定負債		
長期借入金	3,251,090	7,727,199
リース債務	870,119	819,174
繰延税金負債	625,006	809,508
長期預り保証金	582,681	555,681
役員退職慰労引当金	487,135	4,403
退職給付に係る負債	996,831	392,945
資産除去債務	48,985	48,985
その他	219,453	688,043
固定負債合計	7,081,302	11,045,941
負債合計	33,649,275	31,948,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,767,709	9,765,361
利益剰余金	18,200,536	18,337,490
自己株式	△1,028,030	△998,288
株主資本合計	36,953,166	37,117,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	871,590	355,782
為替換算調整勘定	△2,439,491	△2,720,789
退職給付に係る調整累計額	△250,278	△186,527
その他の包括利益累計額合計	△1,818,180	△2,551,533
非支配株主持分	2,610,886	2,875,851
純資産合計	37,745,872	37,441,832
負債純資産合計	71,395,148	69,390,102

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
売上高	71,799,094	62,850,813
売上原価	53,842,884	47,888,178
売上総利益	17,956,209	14,962,635
販売費及び一般管理費		
従業員給与及び賞与	3,600,320	3,426,200
役員賞与引当金繰入額	81,730	6,420
役員退職慰労引当金繰入額	46,194	7,658
退職給付費用	214,750	211,610
その他の人件費	823,391	861,449
運搬費	3,465,218	3,222,787
減価償却費	297,521	317,016
貸倒引当金繰入額	6,002	2,001
研究開発費	2,634,940	2,598,641
その他	3,033,307	2,731,995
販売費及び一般管理費合計	14,203,376	13,385,780
営業利益	3,752,833	1,576,854
営業外収益		
受取利息	51,844	24,223
受取配当金	95,225	81,131
不動産賃貸料	38,525	34,456
保険解約返戻金	58,620	—
その他	126,845	186,882
営業外収益合計	371,062	326,693
営業外費用		
支払利息	291,957	261,493
支払手数料	9,174	7,934
為替差損	111,902	347,863
持分法による投資損失	40,170	110,152
その他	80,979	82,506
営業外費用合計	534,183	809,950
経常利益	3,589,711	1,093,597
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,553,305
固定資産売却益	—	11,787
特別利益合計	—	1,565,092
特別損失		
減損損失	76,000	342,204
特別損失合計	76,000	342,204
税金等調整前当期純利益	3,513,711	2,316,485
法人税、住民税及び事業税	838,414	606,528
法人税等調整額	49,344	210,418
法人税等合計	887,759	816,946
当期純利益	2,625,952	1,499,538
非支配株主に帰属する当期純利益	408,297	408,155
親会社株主に帰属する当期純利益	2,217,654	1,091,383

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	2,625,952	1,499,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△362,765	△515,863
為替換算調整勘定	△484,357	△253,926
退職給付に係る調整額	△84,908	64,707
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	56
その他の包括利益合計	△932,053	△705,026
包括利益	1,693,898	794,512
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,350,751	358,029
非支配株主に係る包括利益	343,147	436,483

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,012,951	9,767,753	16,949,929	△422,482	36,308,150
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△967,047	—	△967,047
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	2,217,654	—	2,217,654
自己株式の取得	—	—	—	△605,547	△605,547
自己株式の処分	—	—	—	—	—
連結子会社の増資による持分の増減	—	△44	—	—	△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	△44	1,250,607	△605,547	645,015
当期末残高	10,012,951	9,767,709	18,200,536	△1,028,030	36,953,166

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,234,378	△2,019,448	△166,206	△951,276	2,454,562	37,811,436
当期変動額						
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△967,047
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—	2,217,654
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△605,547
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
連結子会社の増資による持分の増減	—	—	—	—	—	△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△362,788	△420,043	△84,071	△866,903	156,323	△710,579
当期変動額合計	△362,788	△420,043	△84,071	△866,903	156,323	△65,563
当期末残高	871,590	△2,439,491	△250,278	△1,818,180	2,610,886	37,745,872

当連結会計年度(自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,012,951	9,767,709	18,200,536	△1,028,030	36,953,166
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△954,554	—	△954,554
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	1,091,383	—	1,091,383
自己株式の取得	—	—	—	△99	△99
自己株式の処分	—	△2,347	—	29,841	27,493
その他	—	—	125	—	125
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	△2,347	136,954	29,742	164,348
当期末残高	10,012,951	9,765,361	18,337,490	△998,288	37,117,515

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	871,590	△2,439,491	△250,278	△1,818,180	2,610,886	37,745,872
当期変動額						
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△954,554
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—	1,091,383
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△99
自己株式の処分	—	—	—	—	—	27,493
その他	—	—	—	—	—	125
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△515,807	△281,297	63,750	△733,353	264,964	△468,389
当期変動額合計	△515,807	△281,297	63,750	△733,353	264,964	△304,040
当期末残高	355,782	△2,720,789	△186,527	△2,551,533	2,875,851	37,441,832

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,513,711	2,316,485
減価償却費	2,258,460	2,353,268
減損損失	76,000	342,204
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,590	△64,440
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	39,894	△482,732
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,416	△7,702
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△54,610	△524,777
受取利息及び受取配当金	△147,069	△105,355
支払利息	291,957	261,493
為替差損益 (△は益)	100,614	372,028
持分法による投資損益 (△は益)	40,170	110,152
有形固定資産除却損	26,352	52,977
有形固定資産売却損益 (△は益)	△8,682	△12,288
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,067	△1,567,489
売上債権の増減額 (△は増加)	3,767,203	△99,753
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,492,446	553,603
仕入債務の増減額 (△は減少)	△88,719	△595,806
その他	△952,776	1,008,795
小計	7,350,985	3,910,664
利息及び配当金の受取額	156,616	114,904
利息の支払額	△296,570	△234,990
法人税等の支払額	△1,024,265	△782,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,186,765	3,007,839

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,484,479	△2,226,483
有形固定資産の売却による収入	35,580	259,803
無形固定資産の取得による支出	△177,319	△68,621
投資有価証券の取得による支出	△4,038	△1,788,380
投資有価証券の売却による収入	36,677	2,649,273
その他	130,172	△684,056
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,463,407	△1,858,464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△753,654	△3,979,559
長期借入れによる収入	2,198,342	5,004,571
長期借入金の返済による支出	△1,594,264	△1,380,274
配当金の支払額	△967,047	△954,554
非支配株主への配当金の支払額	△161,466	△163,154
リース債務の返済による支出	△72,958	△72,468
預り保証金の返還による支出	△88,831	△18,999
自己株式の取得による支出	△605,547	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,045,426	△1,564,538
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56,076	△74,391
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	621,855	△489,555
現金及び現金同等物の期首残高	3,289,240	3,911,095
現金及び現金同等物の期末残高	3,911,095	3,421,540

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象になっているものであります。

当社は、カンパニー制を導入しており、各カンパニーは取り扱う製品等について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。なお、「樹脂化成品事業」、「製紙用薬品事業」、「電子材料事業」、「ローター」を報告セグメントとしております。

「樹脂化成品事業」は塗料用樹脂、印刷インキ用樹脂、トール油製品、合成ゴム乳化剤の製造販売を行っております。「製紙用薬品事業」は紙力増強剤、サイズ剤、表面塗工剤の製造販売を行っております。「電子材料事業」は電子材料の製造販売を行っております。「ローター」は印刷インキ用樹脂、粘接着剤用樹脂の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結損益 計算書額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	18,188,348	18,928,383	5,297,842	27,655,267	70,069,843	1,726,122	71,795,965	3,129	71,799,094
セグメント間の内部 売上高又は振替高	209,312	47,374	—	38,185	294,872	181,147	476,020	△476,020	—
計	18,397,661	18,975,758	5,297,842	27,693,453	70,364,715	1,907,269	72,271,985	△472,890	71,799,094
セグメント利益	419,073	1,838,722	157,554	1,654,694	4,070,045	140,461	4,210,506	△457,673	3,752,833
減価償却費	765,988	745,405	163,522	451,403	2,126,320	132,140	2,258,460	—	2,258,460
受取利息及び支払利息	△5,301	△6,134	△813	△155,506	△167,756	△3,701	△171,457	△68,655	△240,112
持分法投資損失	—	—	—	△50,741	△50,741	—	△50,741	10,570	△40,170

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額103,957千円、各報告セグメントに配分していない全社損益△579,229千円等が含まれております。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 資産については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため各セグメントに配分しておりません。

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結損益 計算書額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	14,783,648	18,481,288	5,005,477	23,068,621	61,339,036	1,525,429	62,864,465	△13,651	62,850,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	227,729	3,447	—	401,403	632,580	156,223	788,803	△788,803	—
計	15,011,378	18,484,736	5,005,477	23,470,025	61,971,616	1,681,652	63,653,269	△802,455	62,850,813
セグメント利益 又は損失(△)	△490,595	1,987,791	272,216	386,134	2,155,547	26,078	2,181,626	△604,771	1,576,854
減価償却費	781,070	738,187	157,426	534,430	2,211,115	142,152	2,353,268	—	2,353,268
受取利息及び支払利息	△3,301	10,641	△200	△169,228	△162,088	△6,206	△168,294	△68,975	△237,269
持分法投資損失	—	—	—	△158,362	△158,362	—	△158,362	48,209	△110,152

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額112,922千円、各報告セグメントに配分していない全社損益△732,459千円等が含まれております。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 資産については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため各セグメントに配分しておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,399円48銭	1,375円27銭
1株当たり当期純利益金額	87円67銭	43円44銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,217,654	1,091,383
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	2,217,654	1,091,383
普通株式の期中平均株式数(千株)	25,294	25,125

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2021年3月期 決算短信
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2021/3期		2022/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(計画)	通期(計画)
連結	9.3億円	22.8億円	20.0億円	40.0億円

2. 減価償却実施額

	2021/3期		2022/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(計画)	通期(計画)
連結	11.4億円	23.5億円	12.0億円	24.0億円

3. セグメント別売上高

	2021/3期		2022/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(計画)	通期(計画)
樹脂化成品	70.0億円	147.8億円	83.0億円	166.0億円
製紙用薬品	86.8億円	184.8億円	97.0億円	204.0億円
電子材料	20.8億円	50.0億円	29.0億円	59.0億円
ローター	115.2億円	230.6億円	117.0億円	240.0億円
その他	7.7億円	15.2億円	9.0億円	18.0億円
調整額	0.2億円	0.0億円	△1.0億円	△2.0億円
合計	301.0億円	628.5億円	334.0億円	685.0億円

4. 海外売上高

	2020/3期		2021/3期	
	通期(実績)		通期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	139.9億円	19.5%	112.9億円	18.0%
欧州	125.5億円	17.5%	103.4億円	16.5%
アジア、オセアニア	140.5億円	19.6%	134.8億円	21.4%
合計	406.0億円	56.6%	351.2億円	55.9%